

## ドラムスタンド 取扱説明書

【品番】 DHR-5

---

この度は、KIKAIYA「ドラムスタンド」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- \* この取扱説明書は、商品の正しい組立て方法について記載しております。
  - \* 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく取り付し、お使いください。
  - \* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。
- 



**コバヤシデンソー株式会社**

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(M A I L) [info@kikaiya.com](mailto:info@kikaiya.com)

## ■調査及び修理をご依頼の前に

\* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

\* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

(改良の為、予告なく仕様を変更する場合があります)

## ■開封時

開封したらすぐに中身を確認してください。

付属品の欠品、破損等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身をご確認ください。

## 「注意事項」

---

- ・許容荷重を守り、能力以上の荷重をかけないでください。
- ・平坦で硬い床の上で使用してください。(傾斜地では使用しないでください。転倒事故につながり危険です)
- ・指定のドラム缶以外には使わないでください。
- ・屋外では使用しないでください。
- ・改造しないでください。
- ・子供の使用は危険です。子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・操作に不慣れな人の単独操作は危険です。また、ドラム缶を横倒しする際や移動の際には、1人以上の人数で慎重に作業をおこなってください。
- ・左右均等荷重でご使用ください。片荷になりますと落下の恐れがあります。
- ・異常を感じたら直ちにお買い求めの販売店にご連絡ください。
- ・使用に適した服装(作業服や軍手等)を着用してご使用ください。

## 「仕様」

---

商 品 名	ドラムスタンド S 型
品 番	DHR-5
許 容 重 量	210kg
本 体 重 量	16.5kg
材 質	スチール
車 輪	白色ナイロン車輪



- ① 固定車輪 2個
- ② 自在車輪 2個



③ シャフト

④ クロスバー

⑤ サポートバー

## 「ドラムスタンド組立要領」

(組立て工具はお客様ご自身でご用意ください)



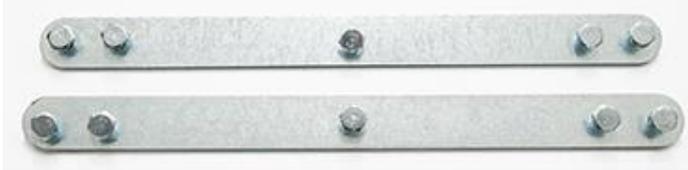
1. 左右のフレームに  
⑤サポートバーを仮組します  
(バーは外側にセットします)

※ここでは本締めをせず、  
緩めに仮組して下さい

※スパナ 14mm をご用意ください



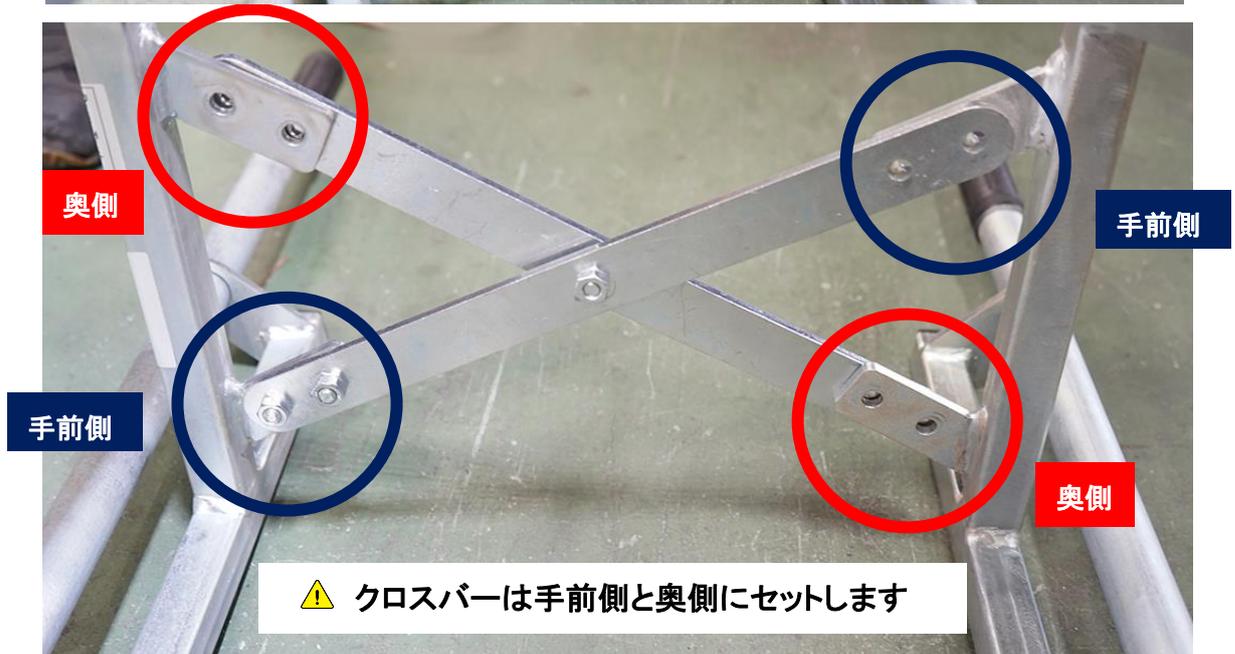
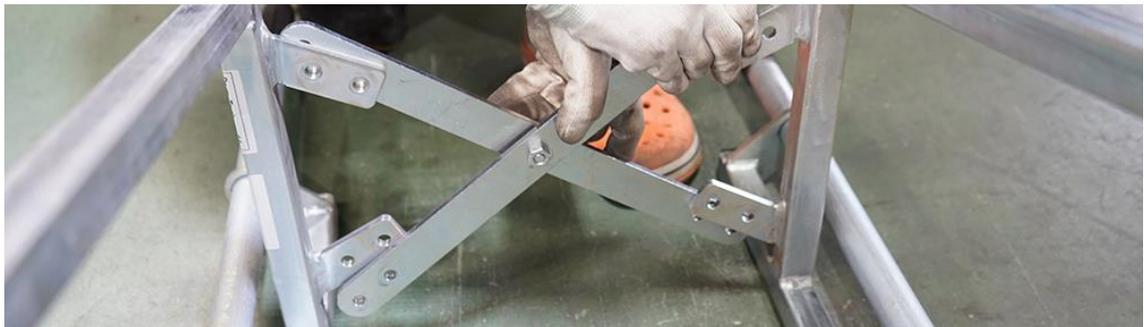
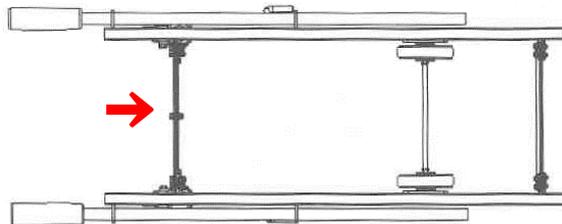
2. ④クロスバー2本を重ね、  
中心をボルトで仮組します



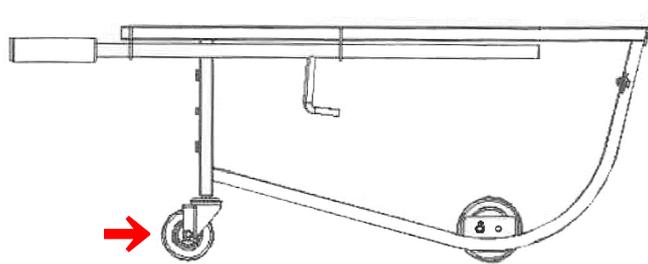
中心のボルトが1つ余りますが、  
予備などにお使い下さい



3. 左右のフレームにクロスバーを仮付けします



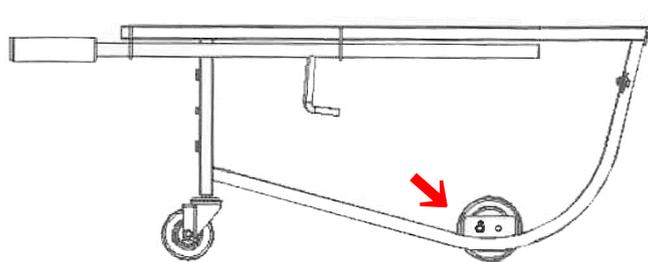
4. ハンドル下に、②自在車輪をフレームに取り付けます



薄めのスパナ 19mm でしっかりと取り付けてください

5. ①固定車輪を取り付けます

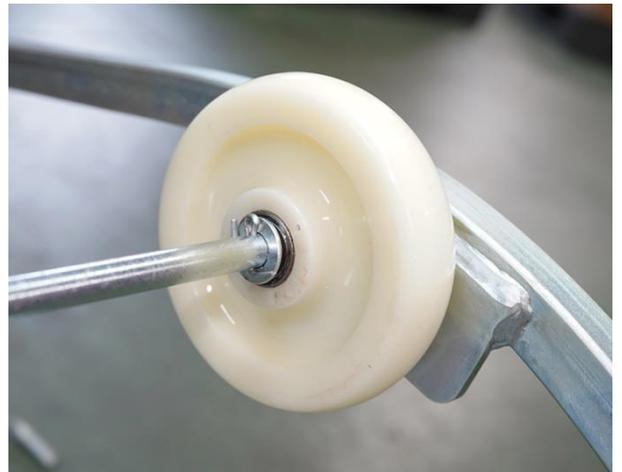
車輪固定穴は 2ヶ所ありますが、ハンドル側(下画像参照)の穴位置へ固定してください



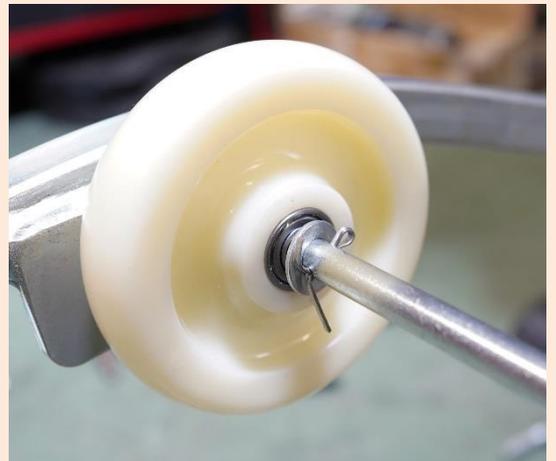
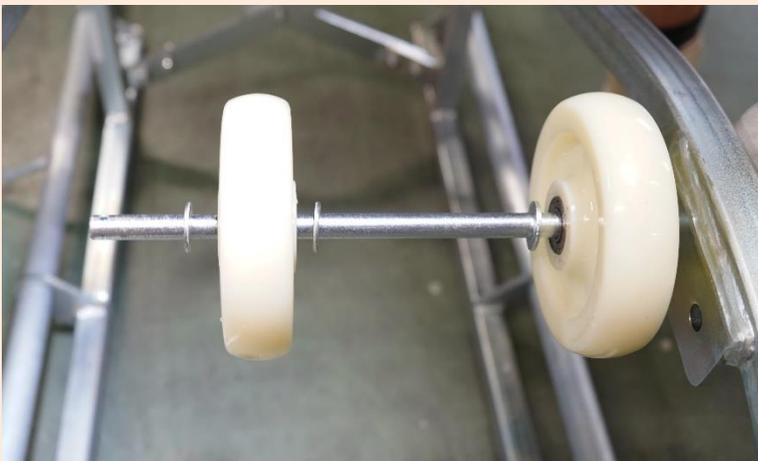
③シャフトの端の割りピンとワッシャーを1つずつ残し、本体のフレームにシャフトを入れます



ワッシャー・車輪・ワッシャー の順で取り付け、割りピンで固定します  
(ピンを割ってシャフトが抜けない様にして下さい)



もう一つの車輪も同様に、ワッシャー・車輪・ワッシャー の順で取付け、  
割りピンで固定します

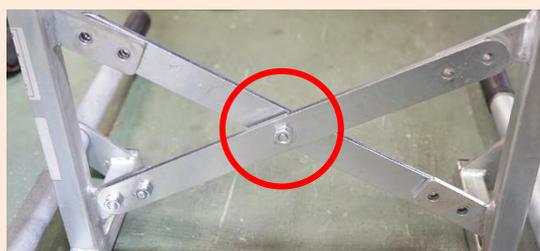


反対側のフレームにシャフトを通し、ワッシャーを入れ、割りピンで固定します



6. 全体のバランスを確認し、歪みを修正しながら、ボルト・ナットを本締めします

※ナットは「ゆるみ止めナット」なので、本締めは手ではなく、スパナでしっかりと締めこんでください



※クロスバーの中心を最後に締めるとバランスがとりやすいです



ガタつきがある場合は、一度緩めて、締め直しをして下さい  
手で押さえながら少しずつ締めると、正確に組み立てられます

# 「使用方法」

**STEP 01** 運搬車の下の爪をドラム缶にあてます



**STEP 02** 運搬車を垂直にドラム缶にそわせ、上の引っ掛けを缶のフチにかけます  
※引っ掛けの高さはドラム缶の高さに合わせて調節ができます



**STEP 03** 足で運搬車をしっかり支え、ハンドルを手前に引きます  
※下の爪がドラム缶の下に入っているか、確認して下さい



## 移動も楽々♪

横倒し時はキャスター4個で支えるので、横倒しのまま容易に移動ができます！  
ハンドルを持つての移動はもちろん、ドラム缶を押しての移動も可能です

-使ってみた感想-  
ドラム缶を持てば  
屈まなくていい分、  
楽です！



※ポリドラム缶の種類によっては使用できない場合がございます